

加熱式たばこの健康影響



◆加熱式たばことは？

加熱式たばこは、専用の道具を使って、たばこの葉やその加工品を電気で加熱し、発生する煙(エアロゾル)を喫煙するもので、IQOS アイコス、glo グロー、ploom TECH プルーム・テックなどがあります(図1)。加熱式たばこは、喫煙者の20%以上が使用しています。中でも、若い喫煙者では加熱式たばこを使用する人が多く、20~30代では男性で約40%、女性で約50%に達しています。

図1 日本で販売されている加熱式たばこ (2022年7月現在)



◆加熱式たばこは害があるのか？



加熱式たばこは、喫煙者本人及び周囲への健康影響や臭いなどが紙巻たばこより少ないという期待から、使い始める人が多くいますが、紙巻たばこに比べて健康影響が少ないかどうかは、まだ明らかになっていません。

化学成分を分析した結果からは、加熱式たばこの主流煙には、多くの種類の有害化学物質が含まれるものの、ニコチン以外の有害化学物質の量は少なかったと報告されています。しかし、販売開始からの年月が浅いため、長期使用に伴う健康影響は明らかになっていません。

また、量が少ないとしても、たばこ煙にさらされることについては安全なレベルというものがなく、喫煙者と受動喫煙者の健康に悪影響を及ぼす可能性が否定できないと考えられています。

【引用文献】

e-ヘルスネット (厚生労働省) 加熱式たばこの健康影響 <https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/tobacco/t-02-008.html>

がん情報サービス 加熱式たばこ https://ganjoho.jp/public/pre_scr/cause_prevention/smoking/tobacco04.html